令和２年度第３号

農林高校

農　場　通　信

農業活動での汗を感動へ　～実習による成就感と達成感～

■地球温暖化防止「４パーミルイニシアチブ」（システム園芸科）

「４パーミルイニシアチブ」とは、土壌中の炭素の量を毎年４パーミル（1000 分の４）ずつ増やすことで、大気中の二酸化炭素の増加量を減らし、地球温暖化を防ごうという国際的な取り組みです。この考えに基づき、山梨県は桃やブドウの剪定枝を炭にして土に戻すことで、二酸化炭素の排出を抑え、土壌改善にもつなげる取り組みを進めています。

今回、システム園芸科２年生は山梨県農政部長坂内啓二先生のよる４パーミルイニシアチブの講演を受け、地球温暖化に対する意識を高めました。全世界が小さなことを少しずつ取り組むことで、地球温暖化は大きな結果に結びつくことを学びました。

■最先端の自動草刈り機を見学（森林科学科）

労働安全衛生法では、「事業者が労働者に刈払機を使用させる際には、刈払機取扱い作業者の安全衛生教育を受講させること」と規定されています。林業では６月から８月の暑い時期に繁茂してくる雑草から苗木を守る為、刈り払い機の作業が欠かせません。そこで、森林科学科は「刈払機取扱作業者」の資格講習会を希望者を対象に行っています。今年度、２年生７名が受講しました。例年、夏休み中に開催していましたが新型コロナウイルスの影響で、今年度は１月になりました。機械の取り扱いだけでなく、メンテナンスや作業中に気を付けなければならない生物などの勉強もしました。また、自動で傾斜を上り、刈り払い作業を行う最先端の自動草刈り機を見学しました。林業界にも高性能な林業機械による労働の軽減化のための技術が発展していることに驚きました。

■第 47 回全国造園デザインコンクールで文部科学大臣賞（造園緑地科）

造園緑地科は、２学期から冬休みに掛けて造園計画の授業の一環で全国造園デザインコンクール課題に取り組んでいます。今年度、生徒が作成した製図課題を応募したところ、６名が入選、２名が佳作に選ばれ、その中で１年生の佐竹さんの作品が全国高等学校造園教育研究協議会会長賞を受賞しました。これらの成績から本校が２年ぶり４度目の文部科学大臣賞を受賞し、２月１４日（日）、東京グリーンパレスにて表彰式が行われました。

この製図課題は、造園計画の１年間の学習の集大成として取り組んでいて、今後も継続して頑張りたいと考えています。

■淡水魚「ホンモロコ」の飼育を研究（環境土木科）

環境土木科は県内の中山間地域の地域活性化を考えて、ホンモロコ飼育プロジェクトに取り組んでいます。寒い時期を迎えた現在、ホンモロコは体長９㎝程度に成長し、いよいよおいしい時期（？）になりました。そこで、数匹を素揚げにて試食しました。濃厚な味で、揚げ物の食材としてとてもおいしい魚だと思いました。そして、来年度に向けて、稚魚を増やす飼育増産プロジェクトの準備を始めました。旧鶏舎を改修してホンモロコを飼育する為の施設を設営しています。

話は変わりますが、先日２年生が受験してきました２級土木施工管理検定では、１０名の合格者を出すことができました。知識の積み重ねが必要な為、他校では３年生が取り組んでいる資格ですが、建設業の仕事の動機づけとして、本校では２年生から取り組んでいます。年々、合格者も増えています。昨年度、合格した現在の３年生は、全員が建設業関連の進路を選択しました。また、土木職の公務員試験に合格した生徒もいます。

地域の活性化プロジェクトと専門性を生かした進路実現に向け今後も頑張りたいと思います。

■農林産ワインを組合に寄贈（食品科学科）

食品科学科が醸造したワイン「１７ａｎｓ（ディセタン）」が完成し、県ワイン酒造組合に寄贈しました。寄贈したのは、甲州種の白とカベルネ・ソーヴィニョンの赤、マスカット・ベリーＡのロゼの３種類です。昨年度、組合から醸造用ブドウの栽培マニュアルの提供を受けていたことから、感謝の意味を込めて寄贈しました。

安藏光弘会長に手渡し、「山梨のワインサイン業を支える原動力になってほしい」と激励のお言葉を頂きました。さらに、組合のワイン醸造マニュアルのテキストを頂きました。安藏会長は、「フランスでは川沿いの砂地でワイン用ブドウを栽培しているので、同じような立地にある農林高校のワインは良質になるかもしれません」という嬉しいお言葉を頂きました。

■コロナ禍、県プロジェクト発表会が開催（農業クラブ）

今年度は新型コロナの為、農ク大会が中止となりましたが、令和３年２月１０日（水）、山梨県立文学館において北杜高校、笛吹高校、本校で行う山梨県学校農業クラブ連盟プロジェクト発表会が開催されました。本校からは校内予選を突破した、第Ⅰ類のシステム園芸科３年池上翔太さん他３名による「誰にでも栽培できるやはた芋の袋栽培」、森林科学科３年藤本天馬さん他５名による「山梨夏っこきのこの栽培２ ～生産量の増加とPR活動への準備～」、第Ⅱ類の環境土木科３年早川莉奈さん他６名による「学校施設の有効活用とホンモロコの養殖」、第Ⅲ類のシステム園芸科２年市川美羽さん他２名による「藍染めについて」の４チームが出場しました。各チームとも農林高校の代表として立派な発表を行い、全てのチームが優秀賞という結果になりました。今回の発表は独自性ある内容が多く、来年度は最優秀賞が期待できる内容でした。